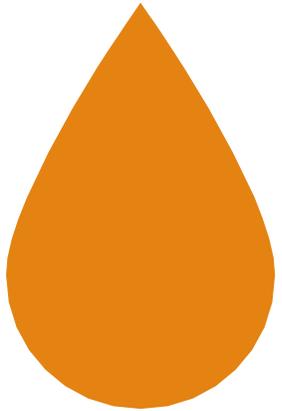


令和7年度  
帯広市立豊成小学校  
校内研究概要

---



# 1. 昨年度までの研究

---

# 研究主題

## 「教える」から「学ぶ」授業の転換

～“できた！わかった！成長した！”を実感させる授業のデザイン～

### 研究仮説①

課題に対して一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくることで、見通しをもって学ぶ子どもを育てることができるだろう。

### 研究仮説②

できた！わかった！成長した！を実感する手立てを講じることで、学ぶ楽しさや喜びを実感し、自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。



# 研究仮説①

課題に対して一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくることで、見通しをもって学ぶ子どもを育てることができるだろう。

## 中学年ブロック 単元を通しての学び (ロイロノート 児童作成要約文)

◆要約文 (400字でい度)

グループ…諦めない心グループ

使いたい言葉 (キーワード)  
失敗しながら進んでいきます。

へつなぎ言葉  
そこで、しかし、さらに、はじめに、次に、そして、一方、ついで、こうして…など

岩谷さんは、こどものころから、宇宙に行くものを自分で作りたいと考えていました。そんな岩谷さんに、アメリカの大学生が宇宙を撮影したということを知ってから、岩谷さんの好奇心ははじまりました。早くも2か月後に1号機が完成しました。惜しくも1号機は、100m程度まで、上がり、カメラに写っていたのはぐわんぐわんと揺れた映像だけでした。それから岩谷さんは、2号機3号機と次々完成していきました。失敗しながら進んでいきます。3号機までの実験で、できた4号機はジーピーエス端末などをつけ、出発させました。が、途中から予想以外の方向へ飛んでいき、最終的には、太平洋沖合いに落ちてしまいました。4号機がどこに行ったのかもわからないので、自分には無理な挑戦だったのかも少し暗い気持ちになりましたが、拾ってくれた方に言われ多様な気がしたことになりました。失敗しながら進んでいきます。それから、きれいな写真を連続して撮れるカメラにかえたり、レンズが曇らない工夫をしたりと様々な試行錯誤を重ね、とうとう16号機で、宇宙を撮影することができました。



## 高学年ブロック 単元を通しての学び (ロイロノート)



海の命 作 立松和平 絵 伊勢英子

## 研究仮説②

できた！わかった！成長した！を実感する手立てを講じることで、学ぶ楽しさや喜びを実感し、自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

中学年ブロック「わかった！」を実感

よそう		
じしゃくにつく	じしゃくにつかない	考えた理由
		鉄じゃないと磁石につかないと考えたから、1000円玉は鉄だと思っただけで、1000円玉じゃないとつかないと察した。

→

けっか			
じしゃくについたもの	じしゃくにつかなかったもの	気づいたこと	考えたこと
			鉄やニッケル、コバルトだけでできたものが見つかった。また、1,000円札は、磁石につくことがわかった。

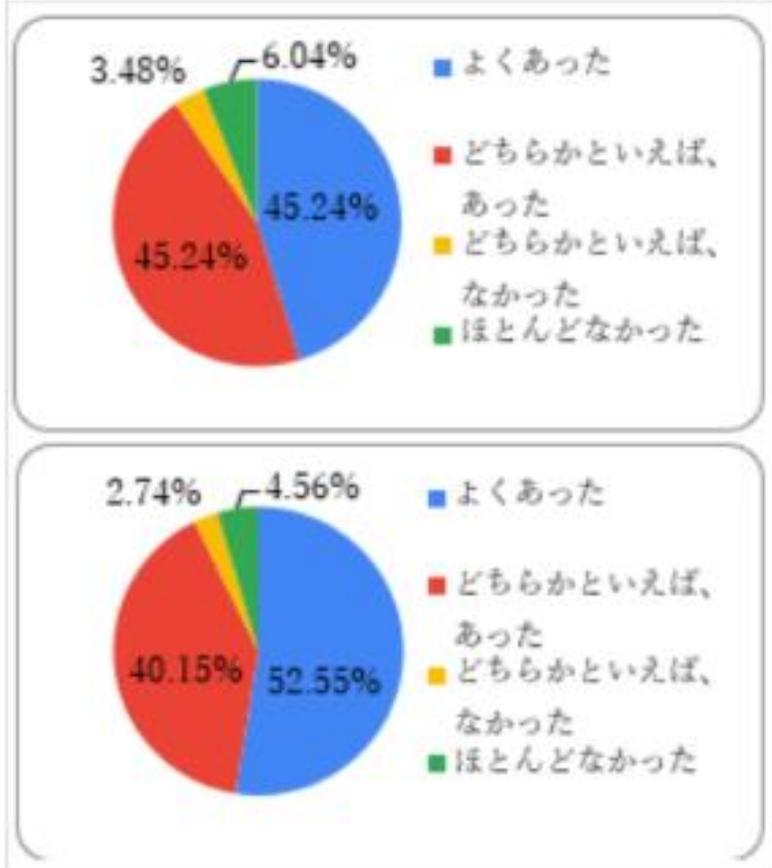
高学年ブロック「成長した！」を実感

	単元の振り返り(六時間目)にしよう。(筆者が伝えたいことが最初はわからなかったけど、登場人物の言ったことなどから読み取ったら難しかったけど理解できました。)

# 成果

## 児童アンケートより

授業で「できた」「わかった」「成長した」を実感したことがあるか。



## 教職員アンケートより

○主体的に学習に取り組む姿が見られた。

○一人で考えることに意欲的になったり、友達と交流したりすることも楽しめるようになった。

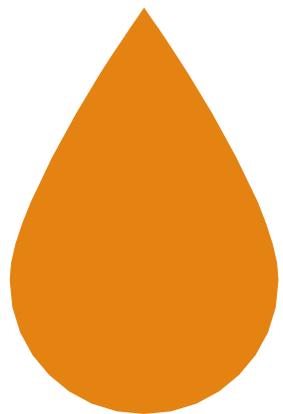
○授業の中で、子どもが受け身にならず自分から考えて動いたり、選択したりすることができるようになった。

○教師の「教える」という発想が変容し、子どもが主体的に学ぶように授業を組み立てようという意識をもつことができた。

# 課題

## 教職員アンケートより

- 意欲が低く、自分から学びに向かうことができない児童への対応が難しかった。
- 交流の際、他の子の真似をするだけになっている児童がいた。
- 学習の定着や学力の向上につながりにくいと思った。
- 子どもに委ねながらも指導事項をしっかりとおさえるためには一斉授業の時以上に教材研究と準備がだということがはっきりと分かった。
- 子ども達自身が学び方を学ぶメタ認知能力と教科の楽しさを味わって学習したくなる探究力の両方を育てていく必要がある。



## 2. 今年度の研究

---

研究主題(2か年計画1年次)

# 自己実現を目指す深い学び

～他者と関わり合い、探究する学習の充実を通して～

## 研究仮説①

「学びのデザイン」をし、自己評価をすることで、主体的に学習し自己実現しようとする子どもを育てることができるだろう。

## 研究仮説②

他者との関わり合いをもつことで、より「深い学び」を探究しようとする子どもを育てることができるだろう。

# 研究主題

## 自己実現を目指す深い学び

～他者と関わり合い、探究する学習の充実を通して～

自己実現→ 自己の素質や能力などを発展させて  
より完全な自己を実現させること(文科省)

豊成小の研究では



子どもが

「なりたい自分になれる。」

「目標を達成できるようになれる。」 こと

「自分を好きになれる。」

# 研究主題

## 自己実現を目指す **深い学び**

～他者と関わり合い、探究する学習の充実を通して～

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び。

(文科省)

## 研究仮説①

「**学びのデザイン**」をし、**自己評価をする**ことで、主体的に学習し自己実現しようとする子どもを育てることができるだろう。

## 仮説検証の内容

学びのデザイン→

授業構想シートの活用

自己評価→

ルーブリックの活用

# 授業構想シートのご要説明

学びスタート!

みんなで考えたい問い

学習内容

評価

いつ・どんな場で  
発表しますか？

だれに発表したい  
ですか？

何で作りますか？  
何をしますか？

学びスタート!

みんなで考えたい問い

見たこと聞いたこと  
がない人もイメージ  
できるような体験  
や導入のトビラ

いつ・どんな場で  
発表しますか?

だれに発表したい  
ですか?

トビラに入ってから  
浮き上がる問い

学習内容

評価

何で作りますか?  
何をしますか?

どのような学習が  
必要なのか

いつ・どんな・なに  
を考えた評価

学びスタート!

みんなで考えたい問い



だれに発表したいですか?

「風やゴムの力」で動く車の動き方について、どんなことに気づきましたか?

評価





学びスタート!

みんなで考えたい問い

学習内容

評価

いつ・どんな場で  
発表しますか？

だれに発表したい  
ですか？

何で作りますか？  
何をしますか？

	つかう力	判断する(えらんで、決める)力	まとめる力
<b>A</b>	風やゴムの力について知っていることを正しくつかって発表している。	風やゴムの力についていろいろな(1つじゃない)決まりを比べてまとめている。	風やゴムの力について相手に伝わるようにまとめている。
<b>B</b>	風やゴムの力について知ったことをだいたい正しくつかっている。	風やゴムの力について決まりをまとめている。	風やゴムの力についてまとめている。
<b>C</b>	風やゴムの力についての知っていることを正しくつかえていない。	風やゴムの力について決まりをまとめていない。	風やゴムの力についてまとめていない。

# 学習内容

7時間

① これからの学びを考える。

②

③

④

⑤

⑥

⑦ 発表大会

学びスタート!

みんなで考えたい問い

学習内容

評価

いつ・どんな場で  
発表しますか？

だれに発表したい  
ですか？

何で作りますか？  
何をしますか？



どんな場で  
使えますか？



だれいし  
ですか？



何で作りますか？  
何をしますか？



人	%
ねこ	50 25
犬	20 10
パンダ	40 20
アヒル	30 15
きりん	50 25
ぞう	10 5

大きい順に  
それぞれの%に  
あわせて線をひく

3材料 ゴムのはたらし SP

直進性バツグン!

設置がかんたん! 取替付き

ゴムの力を体感できる! 引っ張りやすい持ち手付き

正しい実験ができる! 直進性バツグン! 取替付き

スライスイ 軽快に走る!

風のはたらし

ゴムのはたらし

ゴムのはたらし

ゴムのはたらし



学びスタート!



いつ・どんな場で  
発表しますか?

# 探究課題

風とゴムの力で動くおもちゃには、動き方に決まり(パターン・仕組み)がある。



## 学習内容 7時間

- ① これからの学びを考える。
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦ 発表大会

	つかう力	判断する(えらんで、決める)力	まとめる力
A	風やゴムの力について知っていることを正しくつかって発表している。	風やゴムの力についていろいろな(1つじゃない)決まりを比べてまとめている。	風やゴムの力について相手に伝わるようにまとめている。
B	風やゴムの力について知ったことをだいたい正しくつかっている。	風やゴムの力について決まりをまとめている。	風やゴムの力についてまとめている。
C	風やゴムの力についての知っていることを正しくつかえていない。	風やゴムの力について決まりをまとめていない。	風やゴムの力についてまとめていない。

# ループリックの概要説明

	つかう力	判断する(えらんで、決める)力	まとめる力
<b>A</b>	風やゴムの力について知っていることを正しくつかって発表している。	風やゴムの力についていろいろな(1つじゃない)決まりを比べてまとめている。	風やゴムの力について相手に伝わるようにまとめている。
<b>B</b>	風やゴムの力について知ったことをだいたい正しくつかっている。	風やゴムの力について決まりをまとめている。	風やゴムの力についてまとめている。
<b>C</b>	風やゴムの力についての知っていることを正しくつかえていない。	風やゴムの力について決まりをまとめていない。	風やゴムの力についてまとめていない。

『思考・判断・表現』 各教科で育成する資質・能力を( )に当てはめる。

	目的の達成度 <b>思考</b>	情報の整理・分析 <b>判断</b>	まとめ <b>表現</b>
	習得した知識の活用	多面的な内容構成	表現の工夫
A(3点)	( )について知っていることを正しく活用しながら目的に沿って発表している。	( )について情報と情報を結び付けながら複数の情報や視点を整理してまとめている。	( )について相手に伝わるように表現している。
B(2点)	( )について知ったことを概ね正しく活用している。	( )について集めた情報を概ね整理しながらまとめている。	( )について表現している。
C(1点)	( )についての知識を正しく活用していない。	( )について集めた情報をまとめていない。	( )について表現していない。

『思考・判断・表現』 各教科で育成する資質・能力を( )に当てはめる。

	目的の達成度 <b>思考</b>	情報の整理・分析 <b>判断</b>	まとめ <b>表現</b>
	習得した知識の活用	多面的な内容構成	表現の工夫
A(3点)	( )について知っていることを正しく活用しながら目的に沿って発表している。	( )について情報と情報を結び付けながら複数の情報や視点を整理してまとめている。	( )について相手に伝わるように表現している。
B(2点)	( )について知ったことを概ね正しく活用している。	( )について集めた情報を概ね整理しながらまとめている。	( )について表現している。
C(1点)	( )についての知識を正しく活用していない。	( )について集めた情報をまとめている。	( )について表現していない。

『主体的に学びに取り組む態度』

	目的・計画を実行しようとする力	情報収集	自己分析
	授業中の姿	ノートの記述	振り返り
A(3点)	目的達成のために計画を調整しながら、学んでいる。	目的を考えながら多面的な視野で情報を集めている。	今後の生活や学びに生きるような、調整力が働いた分析を行っている。
B(2点)	計画通りに行っている。	必要な情報を集めている。	自己を分析している。
C(1点)	目的や計画からも逸れている。	情報を集められていない。	自己を分析していない。



自己評価



他者評価



総括的評価

そうか!「はじめ・中・おわり」に分けて、書くことが大事だった!太郎さんみたいに結論を先に書くとわかりやすいな!ちょっと自分ではできていなかったかもな...今回はBかな。次はAを目指すぞ!



## 【作文を書く】

「あれ...自分の作文っていいのかな?頑張っては書いたんだけど、内容的にはA?B?C?」



『思考・判断・表現』 各教科で育成する資質・能力を( )に当てはめる。

	目的の達成度 <b>思考</b>	情報の整理・分析 <b>判断</b>	まとめ <b>表現</b>
	習得した知識の活用	多面的な内容構成	表現の工夫
A(3点)	( )について知っていることを正しく活用しながら目的に沿って発表している。	( )について情報と情報を結び付けながら複数の情報や視点を整理してまとめている。	( )について相手に伝わるように表現している。
B(2点)	( )について知ったことを概ね正しく活用している。	( )について集めた情報を概ね整理しながらまとめている。	( )について表現している。
C(1点)	( )についての知識を正しく活用していない。	( )について集めた情報をまとめている。	( )について表現していない。

『主体的に学びに取り組む態度』

	目的・計画を実行しようとする力	情報収集	自己分析
	授業中の姿	ノートの記述	振り返り
A(3点)	目的達成のために計画を調整しながら、学んでいる。	目的を考えながら多面的な視野で情報を集めている。	今後の生活や学びに生きような、調整力が働いた分析を行っている。
B(2点)	計画通りに行っている。	必要な情報を集めている。	自己を分析している。
C(1点)	目的や計画からも逸れている。	情報を集められていない。	自己を分析していない。



自己評価



他者評価



総括的評価

# 形成的評価

成績付けには活用せず、試行錯誤の段階

指導のための評価



# 総括的評価

料理の見学

成績に用いる  
最終評価

記録のための評価



ミシュラン☆☆☆



『思考・判断・表現』 各教科で育成する資質・能力を( )に当てはめる。

	目的の達成度 <b>思考</b>	情報の整理・分析 <b>判断</b>	まとめ <b>表現</b>
	習得した知識の活用	多面的な内容構成	表現の工夫
A(3点)	( )について知っていることを正しく活用しながら目的に沿って発表している。	( )について情報と情報を結び付けながら複数の情報や視点を整理してまとめている。	( )について相手に伝わるように表現している。
B(2点)	( )について知ったことを概ね正しく活用している。	( )について集めた情報を概ね整理しながらまとめている。	( )について表現している。
C(1点)	( )についての知識を正しく活用していない。	( )について集めた情報をまとめている。	( )について表現していない。

『主体的に学びに取り組む態度』

	目的・計画を実行しようとする力	情報収集	自己分析
	授業中の姿	ノートの記述	振り返り
A(3点)	目的達成のために計画を調整しながら、学んでいる。	目的を考えながら多面的な視野で情報を集めている。	今後の生活や学びに生きような、調整力が働いた分析を行っている。
B(2点)	計画通りに行っている。	必要な情報を集めている。	自己を分析している。
C(1点)	目的や計画からも逸れている。	情報を集められていない。	自己を分析していない。



自己評価



他者評価



総括的評価

学びスタート!

みんなで考えたい問い

学習内容

評価

いつ・どんな場で  
発表しますか？

だれに発表したい  
ですか？

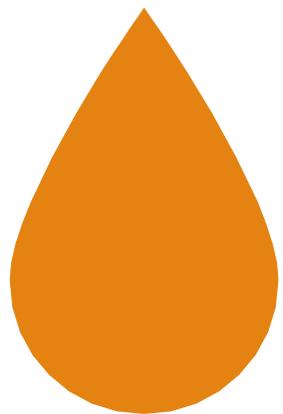
何で作りますか？  
何をしますか？

## 研究仮説②

他者との関わり合いをもつことで、より「深い学び」を探求しようとする子どもを育てることができるだろう。

## 仮説検証の内容

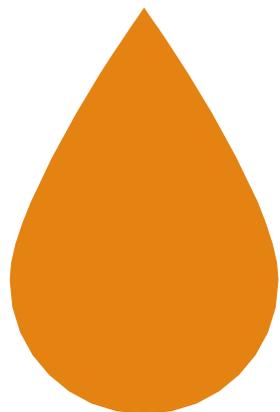
個人学習と全体交流を行き来する場と時間の充実を図ることで、他者との関わり合いをもち、「深い学び」を目指す。



# 3. 研究体制など

---

- 低学年ブロック・中学年ブロック  
高学年ブロック・特別支援ブロック の4ブロック
- 共同研究。研究教科は**ブロック**で決定。
- 公開研究会(11/28)は、各ブロック1本**計4本の公開**。
- 全校研は年に3回実施、職員全員で参観する。
- 1人1実践を継続する**。



# 4. 研究 スケジュール

---

1 全体

	一学期			二学期			三学期	
取組	提案授業	全校研①	ブロック内公開①	全校研②	ブロック内公開②	公開研究会	全校研③	ブロック内公開③
通常 学級	研究部より 1クラス公開	高学年 1クラス公開	中学年 ブロック内で 1クラス公開	中学年 1クラス公開	低学年 ブロック内で 1クラス公開	各ブロックークラス公開 ※支援学級全体から ークラス公開	低学年 1クラス公開	高学年 ブロック内で 1クラス公開
			低学年 授業記録交流		高学年 授業記録交流			中学年 授業記録交流
特別 支援 学級		カモカモ学級 1クラス公開	支援学級から 1クラス公開	ほのぼの学級公開 (実施に応じ隔年公開 など検討)	支援学級 授業記録交流			ステップアップ学級 1クラス公開

- ・全校研のタイミングに合わせて、「ブロック内公開」授業を行うことで、より多くの教職員に授業公開の機会を設ける。
- ・全校研、ブロック内公開に該当しない場合は、「授業記録交流会」を行う。
- ・「ブロック内公開」授業の際は、指導案検討は研修日に行い、授業日と事後研の日程を各々で設けて実施する。
- ・1ブロック6クラス中3クラス(全校研1、公開研1、ブロック公開1)は授業公開の機会がある。公開の当たらない学級は個人研orプレ研を実施。支援学級は6クラス(全校研3、公開研1、ブロック内公開2)。
- ・「個人研」は、本時案のみ作成、指導案検討省略、参加できる人のみの参観&事後研など、簡略化して授業公開する。各々で日程を設けて実施。

2 授業研とプレ授業の組み方について(例:高学年ブロックの場合)

	(研究部 提案授業)	全校研①プレ授業	全校研①	公開研プレ授業	公開研究会	プロ内③プレ授業	プロ内公開③	個人研
5-1			☆	○				
5-2				○	☆			
5-3		○						☆
6-1						○		☆
6-2							☆	
6-3	☆					○		☆

- ・一年間で全ての学級担任が、いずれかの授業公開の機会があるようにする(公開研、全校研、ブロック内授業、個人研、プレ授業)。
- ・プレ授業の実施有無や回数はブロック内で検討する(複数回、1回、今回は行わない...など)。

3 研修日スケジュール(全13回) ※去年より1回減

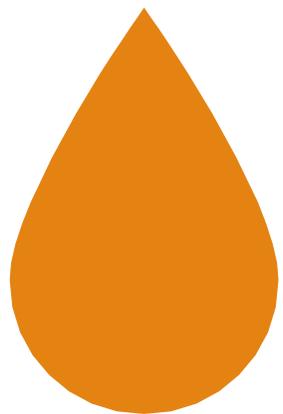
回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
日	4/21(月)	5/19(月)	6/23(月)	7/7(月)	9/1(月)	9/24(水)	10/6(月)	10/24(金)	12/1(月)	1/14(水)	1/26(月)	3/9(月)	※
内容	理論研修 年度初め 提案	提案授業 &事後研	指導案検 討or授業 記録交流	全校研1 &事後研	指導案検 討or授業 記録交流	全校研2 &事後研 (二次訪問)	公開研 指導案 検討1	公開研 指導案 検討2	公開研 振り返り	指導案検 討&授業 記録交流	全校研3 &事後研	年度最終 総括	実技研 (後日日程& 内容決定)

※一つの全校研につき通常級&支援級で2本授業が行われるので、研修日前日と当日に授業を行い、授業2本分の事後研を行う。

※全校研と同じ時期に、ブロック内公開授業の指導案検討、授業実践、事後検討を行う。

○各ブロックの、校内研究授業スケジュールを表に記入してください(プレ授業を含めて)。一年を通して、ブロック内の全員が何らかの授業公開を実施するよう にお考え下さい。昨年から取り組み始めた個人研も積極的に行っていきましょう。実施教科も決まり次第記入ください。

		第一期		第二期		11月:公開研究会		第三期		個人研※時期未定	
低学年 ブロック	取組	授業記録交流会		ブロック内公開授業		公開研究会		全校研授業			
	授業者			(プレ)		(プレ)		(プレ)			
	教科										
中学年 ブロック	取組	ブロック内公開授業		全校研授業		公開研究会		授業記録交流会			
	授業者	(プレ)		(プレ)		(プレ)					
	教科										
高学年 ブロック	取組	全校研授業		授業記録交流会		公開研究会		ブロック内公開授業			
	授業者	(プレ)				(プレ)		(プレ)			
	教科										
特別 支援 ブロック	取組	全校研授業 (カモカモ)	ブロック内 公開授業	全校研授業 (ほのほの)	授業記録 交流会		公開研究会		全校研授業 (step-up学級)	ブロック内 公開授業	
	授業者						(プレ)				
	教科										



# 5. 質疑応答

---

豊成小の子どもたちのため、  
私たちのスキルアップのため、  
1年間頑張っていきましょう！